

令和7年度 施政方針と当初予算

問 財政課財政係 ☎95-9869

令和7年度の予算総額は705億6,558万円です。この内、一般会計は361億6,946万円です。これから1年間のお金の使い道と、どのような事業に取り組んでいくのかをお知らせします（端数処理の関係で合計が一致しない場合あり）。

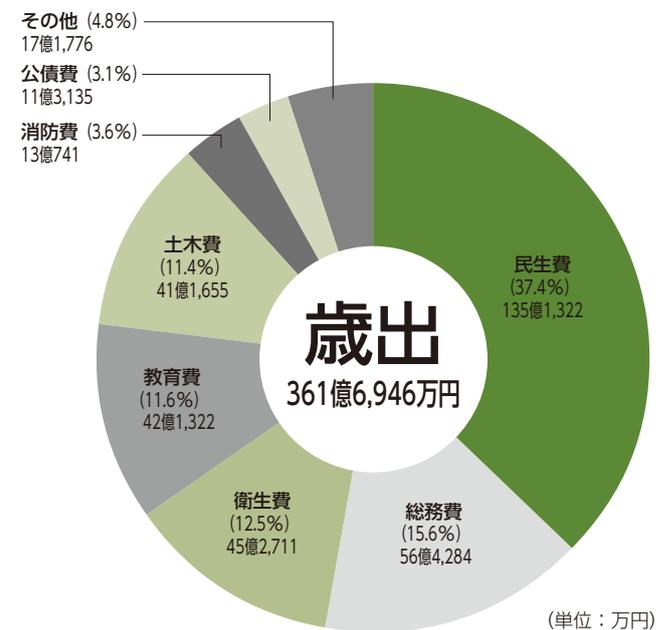
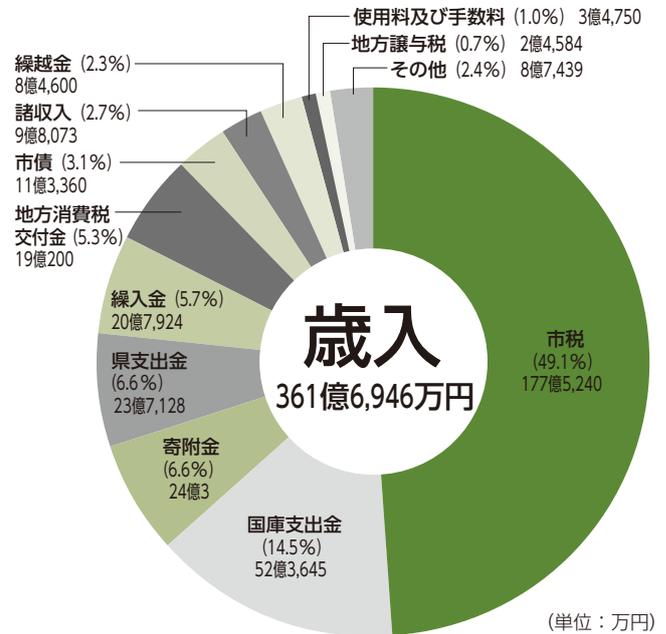
税目別予算

税目	予算額	前年度比
市民税	69億7,640万円	△4.3%
固定資産税	88億4,490万円	△0.8%
軽自動車税	2億3,440万円	2.1%
市たばこ税	5億1,100万円	1.4%
都市計画税	11億8,570万円	2.3%

会計別予算

会計	予算額	前年度比
一般会計	361億6,946万円	6.8%
特別会計	135億5,292万円	0.9%
国民健康保険	63億4,271万円	△2.5%
訪問看護事業	1億1,501万円	△11.0%
介護保険	58億1,070万円	4.3%
保険事業勘定	57億3,294万円	4.5%
介護サービス事業勘定	7,776万円	△11.1%
後期高齢者医療保険	12億8,450万円	5.1%
企業会計	208億4,320万円	18.2%
水道事業	25億7,336万円	11.9%
下水道事業	65億1,644万円	7.8%
病院事業	117億5,340万円	26.6%
総合計	705億6,558万円	8.7%

一般会計の推移



設備投資の増加や2024年の春季労使交渉で賃上げ率が33年ぶりの高水準になったことなどにより、日本の経済状況は緩やかに回復の兆しがありますが、国外では、ロシア・ウクライナ情勢、中東情勢の緊迫化、アメリカの新政権の政策や中国などの海外景気の動向による先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、第6次碧南市総合計画に掲げるまちづくりの将来像「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」の実現を目指し、重要課題である次世代に向けた産業力の強化、子育て世代への支援、若者世代への魅力づくり、高齢者の生きがいの創出、公共施設の効率的な利活用の推進、行財政運営の健全化などに取り組めます。